

雪や自然を生かした生活の提案

エコスクールから自然環境を活かした生活を学ぶ
新潟県上越市立安塚中学校

はじめに

上越市は、未来を拓く「生きる力」をはぐくむ教育として、夢・希望・未来をつなぐ教育の推進を掲げ、環境への感受性と環境に配慮した態度の育成を実践上の重点としています。

その中、安塚中学校では平成14年、15年に校舎の大規模な改修を行い、校舎内に木材（地域の間伐材）をふんだんに使い、特に、生徒が使用する机や椅子にも木材を使うなど、温かみのある学習環境としています。また、太陽光発電施設、雪冷房施設、雨水リサイクルシステムの省エネルギー環境を実現した施設を整えています。地域の過疎化が進む中ではありますが、こうした整った教育環境であることから、安塚中学校への地域住民の期待は大きいものとなっています。

教育課程上の位置づけ

このような豊かな教育環境の整った施設の中で、エネルギー環境について学習をすることができることに着目しています。地域の特性でもある「雪」「自然」を中核に据え、安塚区の自然環境の現状を知り、これからの雪や自然を活かしたエネルギーの有効活用を学びながら、それを日常生活で実践することをとおして、エネルギー資源を有効に活用する社会の実現につなげたいと考えています。

今、省エネルギーや資源の有効活用の必要性が、より一層高まっています。現在の科学技術の素晴らしさを実感するとともに、地域の先人が残してくれた生活の知恵にも大いに学び、実践できる人づくりを目指して、地域社会に向けて雪や自然を活かしたこれからの生活の提案を行っています。

（実践のねらい）

①エネルギーや環境の問題点について興味・関心を持ち、自分の生活を振り返りながら、よりよい生活に向けた方法を考え実践することができる。

—教育課程全体—

②校内でのエネルギー利用設備である、太陽光発電と雪冷房のしくみを理解できる。

—総合的な学習の時間および理科—

③発電のしくみや自然を生かした新エネルギーについて体験をとおして理解できる。

—総合的な学習の時間および社会・理科—

④自然を有効に活用した安塚区の昔からの暮らしを調べ、まとめ、発表することができる。

—総合的な学習の時間・特別活動・学校行事—

⑤雪や自然に対して前向きに暮らしていこうとする態度や能力を育てる。

—教育課程全体—

環境・エネルギー教育

各教科等での環境・エネルギー教育に関係する分野の洗い出しを行い、これまで総合的な学習の時間で取り組んできた「雪」「地域学習」を、環境・エネルギー教育と絡めて見直し続けています。また、地域との協体制度を構築する上でも、ゆきだるま財団や上越教育大学を中心とした上越えちご環境教育研究会と連携した活動を多く取り入れています。



雪冷房のしくみについて学習



上越えちご環境教育研究会との連携

生徒・教職員の「エネルギー」に対する意識や行動の変容

小学校で学習したさまざまなエネルギーに関する体験を、中学校でも継続して学習を進めることで、エネルギーへの生徒の関心は高まっています。

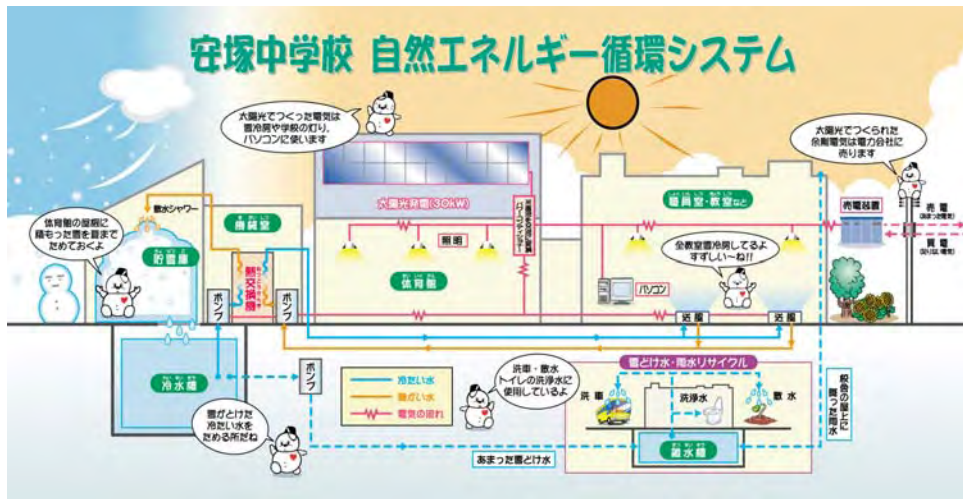
特に地域の特色でもある「雪」「太陽光」などの自然エネルギーについての理解や、「もったいない」という意識は高く、それが校内での省エネルギー活動につながっています。

また、環境・エネルギー教育を進めていく中で、3年生が中心となり生徒会の活動として「全校省エネ活動」を提案し実施しています。生徒が主体的に校内の電力消費を減らすように取り組んでいます。

その結果として、平成18年度の電力購入量と比較すると、平成19年度では8%削減、平成20年度では12%削減を達成することができました。学習した知識をもとに、日ごろから省エネの意識をもって生徒一人一人が行動することができた成果であると考えています。

なお、職員は、環境・エネルギー教育を進めるにあたり、最初は何から手をつけたらよいか不安がありました。しかし、地域が特色とする「雪」の存在や、教育施設整備への太陽光パネルや雪冷房の設置による教育的な付加価値の存在を理解することで、学校教育で行う環境・エネルギー教育を推進しようとする職員の意識が向上しました。また、地域や関係機関の協力を得て価値ある教育活動を進める手助けを感じることができました。

家庭・地域への情報発信



自然エネルギー循環システム図

地域への発信として環境・エネルギー教育のリーフレットを作成し、県内や市内、区内全戸へ配布しました。当校の活動を広報することでエネルギー資源の活かし方の啓発になると考えました。

また、当校の伝統的な学校行事の「演劇祭」では、「エネルギー」や「環境」「雪」などをテーマにした演劇を行うことで、生徒が学習した環境・エネルギー教育の内容や成果を理解してもらう貴重な機会となっています。

今後に向けて

環境・エネルギー教育への取組は平成18年度から3年間の実践を経て、一層当校の特色ある教育活動として定着しつつあります。安塚区の自然環境の現実を知り、これからの自然エネルギーの有効活用を学びながら、それを日常生活で実践する力をはぐくむことは、自然エネルギー資源を活用する社会の実現につながります。

これらの学習をとおして、生徒自身がエネルギーや環境問題について考え、環境の保全活動の定着を図るためには、継続的かつ計画的に学習活動を進めることが必要です。また、学習活動は校内のみでなく、家庭や地域への広がりがあってこそ、環境の保全に効果が期待できると考えます。

公立学校におけるエコスクール設備の整備が直接的な学習活動に生きることを確信し、これまでの実践を糧に当校の環境・エネルギー教育が故郷「安塚」を愛し、生徒にとっての家庭や地域・社会における環境保全の取組の一步となるよう今後も一層の充実を図っていきたいと考えています。



演劇を通じ環境・エネルギー教育の取組を
地域へ情報発信